

総研大東京オフィスを活用した共創活動
総研大生によるトークイベント「SOKENDAI Talk（仮称）」企画・運営業務及び
総研大と企業の共創プロジェクト「SOKENDAI Collabo（仮称）」の企画・開催・撮
影・配信業務の企画競争仕様書

1. 趣旨

国立大学法人総合研究大学院大学（以下「本学」という。）では、既存の分野にとらわれず、幅広い発想で新しい分野を開拓する博士人材の育成が求められている現状に鑑み、2023年に研究科や専攻の枠にとらわれない教育研究を行うため、6研究科体制から1研究院・専攻20コースへの改組を行った。

改組による教育研究活動をより深化させるため、学生が所属機関・コースを超えて行う共同研究をはじめとする共創活動や民間就職支援企業等と連携した就職支援を行うことを目的として、東京駅近辺に拠点（東京オフィス）を設けることとした。

他方、本学は、大学共同利用機関を教育研究の現場としている特性から、基盤機関の研究力の訴求を前面に打ち出し、大学としては、「学術への興味を拡げること」、あるいは「学術への興味を総研大への興味、さらには進学への関心つなげること」を念頭にターゲットを絞って、学術コミュニティの核となる教員や修了生を活用して広報活動を行ってきたところである。

共創活動をより新たな視点で深化するためにも、また、共創活動を通じた就職支援をはじめとする新たなキャリアパスを開拓するためにも、これまでのアカデミアを中心とした活動にとどまらず、民間企業等を巻き込んでいくことが求められる。

しかしながら、そのような取組は、これまで必ずしも十分でなく、本学においては、これらの活動のモデル構築が求められている。

本業務は、これらの背景・問題意識のもと、総研大東京オフィスを活用した共創活動の一環として、総研大生によるトークイベント「SOKENDAI Talk（仮称）」及び総研大と企業の共創プロジェクト「SOKENDAI Collabo（仮称）」を行い、本学でこれらの自走化に必要なモデルを構築することを目的とするものである。モデル構築と併せて、それを自律的に運営するために必要な企画、運営及び体制整備について、助言・提案を求める。

2. 総研大生によるトークイベント「SOKENDAI Talk（仮称）」企画・運営業務

（1）名称

総研大生によるトークイベント「SOKENDAI Talk（仮称）」の企画・運営業務（以下「SOKENDAI Talk（仮称）」という。）

（2）実施予定日

2026年3月1日～9月30日のうち1日のうち半日程度。但し、少なくとも

学生の発表のうち1回は、2026年3月31日までに実施し、(6)①ヶ記載の収録物を納入すること。具体的な日程は、受注後、本学と協議の上、決定する。

(3) 実施場所

総研大東京オフィス（東京都中央区八重洲1-5-17八重洲香川ビル6階）又は受注者が指定する場所

(4) 対象人数

- ①発表学生数：3名
- ②聴講者数：最大15名程度（対面での開催時の場合）

(5) 業務期間

契約締結日～2026年9月30日

(6) 業務内容

「SOKENDAI Talk（仮称）」は、本学の教育・研究活動を民間企業を含む社会に対して広く知ってもらうため、本学の学生が自身の研究内容や関連分野の最新情報を、現役学生や企業の実務家を含む社会に対してわかりやすく説明する機会を設け、その映像コンテンツを制作し配信する業務である。

併せて、その設計と運用等を通じて、本学が事業の自走化を行うために必要な助言及び提案を行うとともに、広報戦略及び方法等について提案を行う業務も含まれる。具体的には以下のとおりの内容となる。

①企画・運営業務

- ア 上記1記載の趣旨、業務内容を踏まえ、SOKENDAI Talk（仮称）の学生が発表するテーマ及び実施プログラムを設計すること。
- イ 実施プログラムは、本学学生3名程度の発表内容で構成し、事業の効果を考慮して、必要に応じて聴講者を参加させるものとする。（聴講者の参加は、東京オフィスでの対面参加、オンライン参加、又はハイブリッド参加のいずれかによるものとする。）但し、学生3名の発表は、必ずしも同日・同時間に実施することを要しない。
- ウ 学生が発表するテーマは、自身の研究内容、専攻分野の最新情報／最先端の研究方法など、上記1記載の趣旨を考慮して設定すること。
- エ 発表学生の発表内容が、事業の趣旨に即して、円滑かつ活発に行われるよう、学生の発表時間を設定するとともに、必要に応じて、インタビュアーの設定等により適切な方法を設定すること。

- オ 学生が発表するテーマ及び実施プログラムについて、東京オフィスで行う意義及び広報効果を考慮すること。
- カ 上記①記載の趣旨を踏まえ、学生が発表するテーマ設定を本学と協議の上を行い、承認を得ること。
- キ 学生の発表内容（インタビュー等を行う場合はインタビュー等の内容を含む。）を録画・撮影し、本事業の趣旨・効果を考慮して、編集を行うこと。内容を効果的に伝える抜粋動画も併せて作成すること。
- ク 聴講者の参加が、オンライン及びハイブリッドの場合は、本学が別に指定する方法により、プログラムの同時配信を行うこと。
- ケ 本学のウェブサイト等へ掲載（具体的にはSOKENDAI YouTubeチャンネル）できるよう、キにおいて編集した収録物を納入すること。
- コ 本業務着手に先立ち、契約締結後速やかに実施計画書を作成し、本学の承認を得ること。

②各種連絡・調整業務

- ア 上記①趣旨及び上記①企画・運営内容を踏まえ、本学と協議の上、発表学生に求められる要件及び対象となる聴衆を提案すること。
- イ アの提案に基づき、本学が募集した発表学生の選考に必要に応じて協力すること。
- ウ 必要に応じて、発表学生と連絡を取り、当日の進行・運営等について調整すること。

③報告・助言・提案業務

- ア ①のキのほか、プログラムの実施状況を記録するため、また、本学のウェブサイト及び広報誌等の広報媒体に掲載するために必要な記事等の文章、写真及び動画の撮影を行い、提供すること。
- イ 発表学生及び聴講者より、意見、感想等を把握することを目的として、アンケートを作成し、本学の事前の了承を得た上で実施すること。また、アンケートを取りまとめ、その結果を文書で本学へ報告すること。
- ウ 本学のウェブサイト等へ掲載（具体的にはSOKENDAI YouTubeチャンネル）した際、動画視聴者数及びその反応について適切な方法により分析を行い、自走化へ向けての評価・提案を行うこと。
- エ 本業務終了後に、本学において事業を自走化するために必要な企画、運営及び体制整備について、助言・提案を行うこと（想定される課題等を含む）。その際、コンテンツの制作・配信については、それについての専門的能力を有する人材の助言を得て、必要なフォーマットを提案すること。

オ 本業務の実施状況を踏まえ、本学の広報戦略及び方法について提案を行うこと。

(7) 人員体制の構築

- ア 円滑に運営されるよう人員体制を検討し、実施体制図を作成し、本学の了承を得ること。本業務の実施、運営にかかる全般を管理する担当者を置くこと。
参加者の一部が外国人であることから、英語での対応について考慮すること。
- イ コンテンツの制作及び配信については、必要な専門的能力を有する人材を整えた体制とすること

(8) 運営・管理業務

- ア 上記(7)の人員体制に基づき、円滑な運営を行うこと。
- イ プログラムの実施に必要な物品及び設備は、原則として受注者が用意するものとし、そのために必要な経費は全て請負金額に含めるものとする。なお、実施場所（総研大東京オフィスに限る。）に通常設置されている物品及び設備について、本学に予め協議の上承認を得たものについて、使用することを妨げない。
- ウ プログラム実施に必要な人員に係る経費は、全て請負金額に含めるものとする。但し、発表学生に旅費及び謝金等が発生する場合は、本学が負担する。なお、聴講者からは参加費を徴収しない（実費等が発生する場合の実費等を除く。）。

3. 総研大と企業の共創プロジェクト「SOKENDAI Collabo（仮称）」の企画・開催・撮影・配信業務

(1) 名称

総研大と企業の共創プロジェクト「SOKENDAI Collabo（仮称）」の企画・開催・撮影・配信業務（以下「SOKENDAI Collabo（仮称）」という。）

(2) 実施予定日

2026年4月1日～12月31日。具体的な日程は、受注後、本学と協議の上、決定する。

(3) 実施場所

総研大東京オフィス（東京都中央区八重洲1-5-17八重洲香川ビル6階）又は受注者が指定する場所

(4) 対象人数

本学学生及び企業実務家併せて最大20名程度(ワークショップ等を実施した場合の参加者数)

(5) 業務期間

2026年4月1日～2026年12月31日

(6) 業務内容

「SOKENDAI Collabo（仮称）」は、企業の要望に合わせ、企業の課題解決に資する短期のプログラムを企業と一緒にになって本学学生が主体的に提供できる場を設計し、運用・撮影・配信する業務である。

併せて、その設計と運用等を通じて、本学が事業の自走化を行うために必要な助言及び提案を行うとともに、広報戦略及び方法等について提案を行う業務である。具体的には以下のとおりの内容となる。

① 企画・開催業務

- ア 上記1記載の趣旨、業務内容を踏まえ、SOKENDAI Collabo（仮称）を設計すること。
- イ 学生及び企業の実務家が共創して行うプログラムを設計すること。プログラムは、参加者が創発的に参加できるよう、ワークショップ形式などテーマの設定に適した方法を設定すること。
- ウ プログラムの実施回数・時間は、プログラムの目的・内容が達成できるよう、参加者の発想・思考の段階に応じて、適切に設定すること。
- エ プログラムのテーマは、学生と企業が相互に学びあう環境を創出することであること。学生及び企業が、それぞれの視点ではない思考や方法論を学びあうテーマであることが望ましい。なお、上記1記載の趣旨を考慮して設定すること。
- オ テーマ及び実施プログラムについて、東京オフィスで行う意義及び広報効果を考慮すること。
- カ 上記1記載の趣旨を踏まえ、テーマ設定を本学と協議の上行い、承認を得ること。
- キ 学生と企業人が共創することにより発展性を示すモデルケースとして、広報活動に活用できるよう、プログラムの実施内容を録画・撮影し、本事業の趣旨・効果を考慮して、編集を行うこと。
- ク 本学のウェブサイト等へ掲載（具体的にはSOKENDAI YouTubeチャンネル）で

きるよう、キにおいて編集した収録物を納入すること。

- ヶ 本業務着手に先立ち、契約締結後速やかに実施計画書を作成し、本学の承認を得ること。

②各種連絡・調整業務

- ア 上記1趣旨、業務内容及び企画内容を踏まえ、本学と協議の上、参加学生及び企業実務家に求める要件を提案すること。
- イ 参加する企業の実務家の募集活動を行うこと。
- ウ アの提案に基づき、本学が募集した参加学生の選考に、必要に応じて協力すること。
- エ 必要に応じて、参加学生及び参加企業の実務家と連絡を取り、当日の進行・運営等について調整すること。

③報告・助言・提案業務

- ア ①のキのほか、プログラムの実施状況を記録するため、また、本学のウェブサイト及び広報誌等の広報媒体に掲載するために必要な記事等の文章、写真及び動画の撮影を行い、提供すること。
- イ 参加学生及び参加企業の実務家より、意見、感想等を把握することを目的として、アンケートを作成し、本学の事前の了承を得た上で実施すること。また、アンケートを取りまとめ、その結果を文書で本学へ報告すること。
- ウ 本学のウェブサイト等へ掲載（具体的にはSOKENDAI YouTubeチャンネル）した際、動画視聴者数及びその反応について適切な方法により分析を行い、自走化へ向けての評価・提案を行うこと。
- エ 本業務終了後に、本学において事業を自走化するために必要な企画、運営及び体制整備について、助言・提案を行うこと（想定される課題等を含む）。
- カ 本業務の実施状況を踏まえ、本学の広報戦略及び方法について提案を行うこと。

④人員体制の構築

- ア 円滑に運営されるよう人員体制を検討し、実施体制図を作成し、本学の了承を得ること。本業務の実施、運営にかかる全般を管理する担当者を置くこと。参加者の一部が外国人であることから、英語での対応について考慮すること。
- イ 記録及びコンテンツの制作については、それに必要な専門的能力を有する人材を整えた体制とすること。

⑤運営・管理業務

- ア 上記④の人員体制に基づき、円滑な運営を行うこと。
- イ プログラムの実施に必要な物品及び設備は、原則として受注者が用意するものとし、そのために必要な経費は全て請負金額に含めるものとする。なお、実施場所（総研大東京オフィスに限る。）に通常設置されている物品及び設備について、本学に予め協議の上承認を得たものについて、使用することを妨げない。
- ウ プログラム実施に必要な人員に係る経費は、全て請負金額に含めるものとする。但し、参加学生に旅費及び謝金等が発生する場合は、本学が負担する。なお、聴講者からは参加費を徴収しない（実費等が発生する場合の実費等を除く。）。

4. 提案価格の上限額

8, 000, 000円（消費税額及び地方消費税額含む）
(うち、「SOKENDAI Talk（仮称）」について、3, 500, 000円、
「SOKENDAI Collabo（仮称）」について、4, 500, 000円)

5. 提案していただく内容

- (1) 総研大生によるトークイベント「SOKENDAI Talk（仮称）」企画・運営業務
 - ①企画・運営業務
2 – (6) ①「企画・運営業務」に記載した要件を満たしているか。
 - ②各種連絡・調整業務
2 – (6) ②「各種連絡・調整業務」に記載した要件を満たしているか。
 - ③報告・助言・提案業務
2 – (6) ③「報告・助言・提案業務」に記載した要件を満たしているか。
 - ④人員体制の構築
2 – (6) ④「人員体制の構築」に記載した要件を満たしているか。
 - ⑤運営・管理業務
2 – (6) ⑤「運営・管理業務」に記載した要件を満たしているか。
- (2) 総研大と企業の共創プロジェクト「SOKENDAI Collabo（仮称）」の企画・開催・撮影・配信業務
 - ①企画・運営業務
3 – (6) ①「企画・運営業務」に記載した要件を満たしているか。
 - ②各種連絡・調整業務
3 – (6) ②「各種連絡・調整業務」に記載した要件を満たしているか。
 - ③報告・助言・提案業務
3 – (6) ③「報告・助言・提案業務」に記載した要件を満たしているか。

④ 人員体制の構築

3 - (6) ④「人員体制の構築」に記載した要件を満たしているか。

⑤ 運営・管理業務

3 - (6) ⑤「運営・管理業務」に記載した要件を満たしているか。

6. その他

- (1) 本仕様書の内容は全て必須要件であり、本件の趣旨に、より貢献する提案があれば、それも含めるものとする。
- (2) 受注者は、業務を遂行するにあたり知りえた本学の機密情報を第三者に開示、漏洩しないものとする。
- (3) 本仕様書に記載していない事項又は仕様について生じた疑義については、本学と協議の上、本学の指示に従うこと。
- (4) 本学が必要と認める場合は、メール、電話及びウェブ会議等の適切な方法により、問い合わせ及び打合せ等を行うこと。
- (5) ワーク・ライフ・バランス等推進企業（えるぼし認定企業、くるみん認定企業、プラチナくるみん、ユースエール認定企業等）の認定を受けている場合は、認定を証する書類の写しを提出すること。

以上